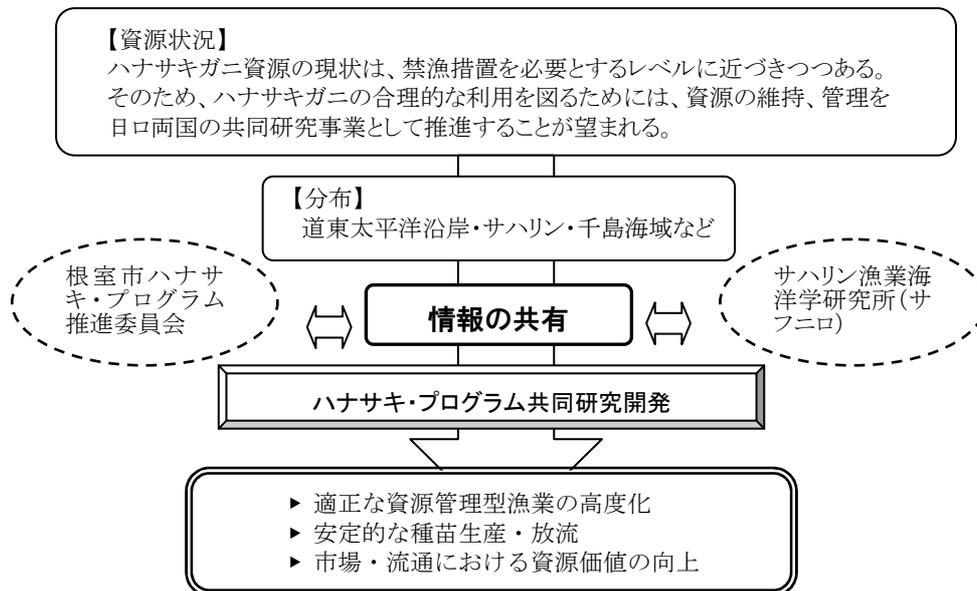


ハナサキ・プログラムは、根室市の特産種であるハナサキガニをめぐる様々な課題を解決するために、ロシア側との科学共同研究を軸にした研究開発、市民向けの啓発活動を実施し、「ハナサキガニ資源の有効利用」と「持続的な漁業の発展」を実現しようとする取り組みであります。

また、このプログラムの推進を通じて、民間レベルにおける科学技術交流や日ロ両国の辺境地域が相携えて繁栄する地域経済交流のモデルを開拓し、北方領土返還への環境醸成を図るものであります。

当推進委員会は、根室市がこのプログラムの実施により、ハナサキガニに関する研究開発、国際交流、中心的な産地市場の三点について、経済圏の中核となることを目的に、平成15年に設立しています。

(1) 背景と目的



(2) 主な研究課題

- 漁業と資源の実態の解明
- 資源構造と資源生態の解明
- 増養殖技術の実用化開発
- 味覚品質指標の開発と品質向上技術の開発
- 資源回復と資源管理方策の設計

(3) 取り組みの経過

本プログラムは、2004年3月2日ロシア連邦サハリン漁業・海洋学研究所(サフニロ)と当推進委員会で調印された「ハナサキガニ共同研究に関する合意書」に基づき、ハナサキガニの生態及び資源の維持増大、そして市場流通における資源価値の向上を目指すことを目的に5ヵ年計画で取組んできましたが、平成20年度の「第7回ハナサキ・プログラム・ワークショップ」をもって終了いたしました。

これまで、日ロ両国研究者の精力的な研究により多くの貴重な研究成果が得られ、ハナサキガニの資源回復とその維持、そして資源の価値を活用することに大きく前進することができました。

一方、新たに解決しなければならない課題が把握されたことや、現場での実証等が必要不可欠であることが明らかになったことから、これまでの研究成果を新たな調査・研究に引き継ぎ、当市の特産品であるハナサキガニの資源維持・増大の取組みに向けた努力をしていき、更には当市の基幹産業である水産業や水産加工業の振興発展に役立ててまいります。